

宮崎大学認定連携協力コーディネーター制度と活動について

株式会社 宮崎銀行

<要旨>

産学連携による地域支援・社会貢献に寄与することを目的に、平成25年4月に宮崎大学が創設した「宮崎大学認定連携協力コーディネーター制度」について、制度の概要や、当行の活動内容について発表する。

～宮崎大学認定連携協力コーディネーター制度と活動について～

株式会社 宮崎銀行

1. 「宮崎大学認定連携協力コーディネーター制度」とは・・・

- (1) 目的：地元企業の悩み・課題について、宮崎大学とタイアップして解決を図るため地元企業と大学との橋渡し役となり、共同研究や開発に繋げる。
- ①地元経済の活性化に向けた多様なビジネスマッチングの推進
 - ②大学の技術・研究成果を活用した営業展開
 - ③見識・感度の高い人材の育成及び人脈の構築
- (2) 設立：平成25年4月
- (3) 認定方法：当行職員が宮崎大学所定の講義やディスカッションを受講し、宮崎大学が認定。任期1年（1年更新）。
- (4) 人数：13名（営業店11名 本部2名） [平成26年6月末日現在]

<取組・相談事項>

- 技術上の課題解決
- 新技術・新製品の開発
- 製品・機械・装置等の改良
- データ分析・調査
- 専門家・研究機関の紹介など

2. コーディネーター活動内容

(1) 宮崎大学と連携して取組んだ事例

連携企業	㈱N社
事業内容	杉・苗木・コンテナ苗生産（九州森林管理局認定）
取組内容	苗木生産にかかる植樹用機械の開発
取組結果	ニーズ聴取後、宮崎大学准教授と面談。機械改良による効率化を目的に試作機を製作し商品化を目指す。

(2) 活動報告会（年2回開催）

当行コーディネーターが日々の営業活動の中で取組んでいる産学連携や取引先企業が抱えている課題等について報告会を行い、宮崎大学や県の関係者から意見やアイデア・アドバイスを受けました。

これを、取引先企業へフィードバックし様々なサポートをしていきます。

報告会風景



(3) 各種セミナー・研究会への参加

宮崎大学が開催している各種セミナーや研究会へ参加しています。